



マスク着用 熱中症注意

水分補給や冷房使用を 高齢者や子ども見守り

夏本番に向け日々の暑さが増す中、新型コロナウイルス感染対策で着用するマスクの影響による熱中症が危険視されています。



マスクを着用しながら上着を脱ぐなどして歩く人たち＝2日午前、大分市のJR大分駅前、撮影・首藤祥平

新型 コロナ

夏本番に向け日々の暑さが増す中、新型コロナウイルス感染対策で着用するマスクの影響による熱中症が危険視されている。呼吸で熱や湿気がこもりやすく、体温上昇や脱水症状を引き起こす恐れがある。感染症対策にマスクは不可欠。県健康づくり支援課は「小まめな水分補給や冷房器具の使用を例年以上以上に心掛け、屋外で人と2メートル以上の距離を確保できる場合は外しても構わない」と話している。

大分地方気象台白田班 珠広域消防本部によると、県内は5月、最高気温が30度以上の真夏日を7日間観測した。白田では全国1位の最高気温を2回記録。同日までに熱中症の疑いで6人が搬送された。県内は6月以降も気温が上がり、今年の夏より暑くなる見込みという。

最高気温が27・0度（今年25・3度）を記録した今月2日午後の大分市、市街地を行き交う人はほとんどがマスク姿だった。中央町の若草公園で5歳の息子を遊ばせていた同市明野高尾の会社員河村まゆさん（29）は遊んでいると暑くなり、すぐにマスクを外してしまふ。感染は怖い、夏が近づくと熱中症も無視できない」と不安をこぼす。

熱中症の症状は頭痛、目

県のもともと、昨年5月9日に県内で72人が熱中症の疑いで搬送された。65歳以上の高齢者が6割近くを占め、統計期間前の4月上旬には80代の女性が死亡。長期入院を伴う重症者は9人だった。

2020年6月4日付
大分合同新聞 23面

①マスクの影響による熱中症が危険視されているのはなぜですか？

マスクを着用していると呼吸で熱や湿気がこもりやすく、体温上昇や脱水症状を引き起こす恐れがあるから。

②記事の横見出しには例年以上に心掛けること（上段）、特に見守る必要がある年代（下段）が書かれています。見出しの○に入る言葉を考えましょう。

○○○○や○○使用を → 水分補給や冷房使用を

○○○や○○○見守り → 高齢者や子ども見守り

③県健康づくり支援課は一定の条件を満たす場合はマスクを外しても構わないとしています。それはどんな場合でしょう？

屋外で2メートル以上の距離を確保できる場合

④担当の藤内修二課長は何と呼び掛けていますか？

「感染を広げないためにマスクは重要だが、熱中症になれば命に関わる。柔軟に対応してほしい」